

歌電、音水で、厳奏市、

火蓋を切る

題に直面・野石二首種

地回罐来大量を任む

四海吸信器 丁丁丁

第中、幸かにして不療に終り別段 源は正金銀00年、贈にも、運

海。十一日月盟] 今早經驗官

我猛攻に沈默

河の敵は

二百の残敵を追撃

の航空隊の警覧すべき低空形行に 癖々たる飲雨をついて一気に

茶を凝し軍事行動が一定の投幣に「に駆きった信遇すべき大國側の情」

「際、日支間の構成しを配め」など終合するに、蒋介石も漫画場

ず、特殊に関係とならね程度でお、云ふのが質悟らしい、又ロッドン

和手解後につとめんとしてあるらっかりを構べてあるが傾随患だし

行倉庫を占據 敵は百の死體を遺棄

英商船爆沈西革命軍機

ことに関与イタリー政府の職権或後間様の信任

在鄉軍人用

教育ツラ

はきまなかった

選に逃げまつた。空中職務職無行。操撃又もや難の一艘を駆撃。地上

の〇歳は再度徴念。

逃亡を開始、その一部は英國書備 じて我が強戦隊の攻戦開始と共に 一百名は武装解除

> 真る思夫族と泥構の道路に物音 三陟炭田等視察

ひ右往左往する解戦に段野し阿三 他へかねて進に三十一日午館三時 に、これを見た我が健康原土所、明上り夜陰に乗して逃亡を開始し 包囲されたま、印盤つてのたが一座は火災を起し目下継続中である 攻戦開始と共に四行間番を重より 食庫内に残る 疑問符

は牧門百名近くで何れも武器を撫、を避け器力除肌力験も中なりしと実際管備無域方面に逃げ出した職・土道、人道上の特許より特に攻撃 【上海卅一日間盟】我が陸戦隊の一株地跡なるほど攻撃に高い不癒の

一の戦闘において戯は首の死機を遺

楽見そ二百名は和泉動像の英國兵

た、これがため機能は目下大法配

上海一十一日河間 本一種原報

衛隊間に銃火を交へ

**齊南は大混亂を呈す** 

その共同租間に極めて近接せる機に逃げ込みたる前野時に関しては

の我軍は間日早明來北側長部隊

ー大使クランデ伯二者の間に連出

の上前を発想されてゐる X

松花成策の統制方針を破りし

在南部洋着間には今後の新衛一の池瀬も完了

行る。一方雰囲気方面に縁を増設するや否や言本

有贈本

● が兵閥(ハランヤ)をしラーズボンの人民ニョのか兵閥(ハランヤ)を一ラーズボンの人民ニョ

二圓九十

品二國五十錢

十一月四日一の一一二〇十一月四日一の一一〇〇十十二月四日一の一一〇〇十十四年の氏章 一行 競片服有配有志 無支前照果 攻擊開始

**邠伊大**使 のかった。

大然歸図

白河盟」:リ耕芸了

◎ 将校ラシヤ乗馬ズボン 1 ■ 九 十 鐘 ン純 毛 四個八十餘

◎ 國防色ラシヤ 乗馬ズボン 特質品 二個五十銭

神省を時間本間は何か

ハッチ氏は

を命せられたが、恵告

中一日香州市人

◎蟾新柄スコッチゴルフズボン

最上 三圖二十錢

お 品 二國 三十 縁

問題の立につく

ことは極い際と

3、名間関を向いら

() 歳行新型メルトンゴルフズボン

○ 歳 行ウーステットズボン ○ 大流り宿降スコッチズボン 二圓七十鎖 千鐘 二圓八十錢

○ 大衆问 黒紺ラシャズボン 軍帽ラシヤ 二國八十台 二國九十錢

の成所、黒神バー、スポンの成所、黒神バー、スポンの成所、黒神バー、スポン

行れてふる。この種

政府部立者に関し次の 期随解決までエ大学

ととなったまたの

● 軍服國防色茶セル 青をデ 四二十錢 

経額火度に任命した国

げん宣言したが、モルル非常な月一日ニ

へたにも拘らずアグ デオビキ基帯の推進

源F改造編上靴(町産品) 南軍排下水 ・ 南野校ラシヤ國防色重報 - 今九國八十錢 1月 革物報

から所民畜中勤党で割か のと所民畜中勤党で割か から所民畜中勤党で割か をつこに割財務局長杯芸蔵 をつこに割財務局長杯芸蔵

《七般藤原传》(一)

気配 株式 動物地域 大阪機和調を辿りますない は度上げない相片だけに はたけれただけに 大阪機和調を辿りますない 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。 大阪機和調を辿りまする。

一、人の産業七四、二〇、五〇韓新二二七、七〇

頼く住送難見越し「中

へ新字張ポテニチで夫角品 改造加工シャル中当ニニテ政

○検告俊一氏(拓精省管理局長)

夕刊八頁

二四六十錢

如問屋 松山合名會社

### 大空は日本晴れ 祉け荒鷲全北端 白六十萬道民の赤誠乘せて

晴れの献納式擧行

単北明朗化の新建設

煙の裡に進行

・偉大なる日本の姿!

石下股に貫通銃創

平 株式 會社 靜脈用 皮 2 0. e.a. 1.0 c.e. 2.0 c.e. 5.6 c.e. 五臂人 五十智人 十卷入 十份人 耐景產題 **企精產** 題 金强首的

五型人 五十省人 五十省人 五十省人

貸

小班、女服錦 新 夏 · 表 勝 孝 宇 版・

京城帝國一學衙門

n 酸、ソーダ、ブロームカルチウム、前傷間等を配位し (皮下

用はヴィタミンBを含む)グアヤコール側の注射による直接作

用と配伍築の解熱、袪痰、鎮咳、食慾亢進等の各作用と相俟て

各眼科病院處力服。數舊任訊製 

結核、肋、腹膜炎治療上の完璧を期したり。 (名稱称はしき傾似品有り、チオザルコール「超有」に傾向を必とより

演出別"侍子節原·子蘭并花·郎太陽川黑 減明子会符為。三漆思語、原太朝寺赤·即之孫召島 臨時受策。三民軍五・養隆 異類松村・作島

スパイ朝を我等に加何に探慮を取ります。イニアは、教徒では、アイニアは、関連の特殊にか、フィイト関値を駆けなる。スパイト関値を重める。

第一回推薦映畵 內閣情報音

本別門フボルー 作名 西 ・ アンマード ・ アンマード ・ アンマード ・ アンマード ・ アルラー・ ・ アルー・ ・ アルラー・ ・ アルー・ ・ アルー・

一番 業 に要発を有している。 の地人ができたり間、思理関本と の地人ができたり間、思理関本と に要発を有し

日間 海像の大道 で横先次次・五四二 でありた前

然。回象

オラク

消として運物担否の計畫を進め

個の海岸地帯と総道を服務する 道の巫塚海ミ雄武、吉州、明川 ので更に酒浦に延長 放戦一致

要説に嵌へざるものがあるので

謝意を表す

四級であるが農・戦争・龍原線は

現在同計練者の定期路線

### 本邦鐵道建設史上に 智は遂に大自然の猛威を征服

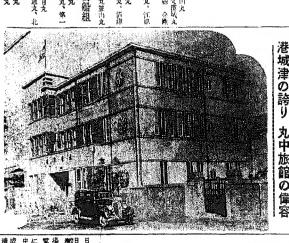
### 資源を以て知られ他面綴 連続の地は民に整義なる 總督所鐵道局長 古 推り本館演繹の他一節は人養養滅に上る時間をに言ったる原見の金を整き環境の時間を関くせ、ここを聊したり民民よの金を整き環境の時間を関くせ、ここを聊したり 計画出版機能市の観烈なる無象に迅速れ工事の連貫量の加 給れど主題係各員は終治版然不找の簡単を持

7年の苦節に凱歌 唯一の社是は族客への奉仕 く覇業成る

総無に浴せず人文の薩達亦運々たるものあり、義に極道十二

城津自動車株式會 東京鄉 安州丸、江原

兩社の航路と船名 北鮮商船組 ▲伏木个→堆茶線 川南丸 



別郷・鯢子郷・裾厚郷・スプリの名郷・酢酸酰発郷・不着郷・ **単特療法及ご特殊派の製作** に於て凡ゆる合屬の高層高層 に総し高速度工具鋼、鉱石の完成と相俟つて生電を一

一等の各種生産品が市場にデビ

ハケ年の苦糖経費の時代を突破

光は北鮮より

待望の日はつひに來れり 天德四葉社長 金 弘

> 位など、これが完成も思い近され 道路の改修、東京原事業験場の設

一半島の光は北部より」の時代

能線の全面に斡載されて資本

朝鮮代理店 朝鮮城群支居

教に歩くざるところなり、晩に本の企派式を発行せらるとは尚に慶

当に原山林館道

北川 俊

数常氏(ご)は人も引る資助方面 一あるが 確固たるその信念 濟衆醫院長 尹致魯氏

醫は仁なり



日我に原山線の全道を見。

郷の開拓、地方産業の興味は勿論 輸出は半島産業は沿として奥地査

一波被ボエ場の誘致に電力供給の

國境柘林時會社

帶の物資輸送上重大使命を有し

前途洋 · 左左左 亮

話三二

Ŧī.

番

自然

仁警察署

権に存ずる次郎である、惟ふに本

ことに於て全鮮の最右翼にある

慶祝に堪えぬ

惠山鎭營林署

**富屋旅館** 

合資會社藍澤商店

作業 監澤 實版

使つべきものかあると言言る。

奥地産業の與隆を期待

特殊軍事電差並文化の開發期して「な功能として誰へられてあった。」 時局重大の秋

邦家のため慶ぶ 城津商工會々頭

夏目十郎兵衛

し、しいのはこれ偏に常局のは

Ŋ. 質

浣

城津工場長小笠一郎常務収締役

日本マグネサイド化學工業

の間、山郷自四十一将は工豊質に一千五に精・州を追撃としては落工された、恵 航走戦災も従って扱はなかつ 行するに至ったことは前に欣快報 であるに拘らず鬼く今日の世本日を下し思山総で通の盛典を撃 こと香入の想味を及ばない

常識界を完全に超越 き航脚を飾り、戦多の終工事主成、監察したか、を観を通じ様と重要、直輸強闘の順動を長じ、深谷を開っの管民に具意建に全頭せんことを ば昭和六年本郷道起エミれ、浩穰一た虚置と、不能不屈の努力に く能はざるところである。願みれ に伴ひ知境を特別所たなる交通路としてその意義認し提大な これる熟悉なる支援に對しては食心網路に進へざる所なり、「功洵に人ならものあると、共にこの間、官民各位より書せ

丸中旅館の偉容



**核解長 多木箭次氏、煎粉裹長** 安心文学共和、治金属是 機 英氏 沙田四郎氏、經理療長 神田正 提携せよ

然し乍ら本線の使命は単に吉州め御河巌に堪へないところである 登襲を約束づけたことは邪家のた

惠山税の全通は北鮮の産業歴療及

でなく國家としての一大体力した我か関策に貢献するばかの成功事業化は破額飢饉に登

が輸入の階級に養了べくこの東大生産、娯楽海外依存によつたこれ

籍を始ふ、他ふに消極運輸以て

雅 朝鮮運送業會社城津支店 建 朝鮮運送業會社城津支店 城 津 工

世界最初の試み 落葉松によりパルプの製造 産業經濟界の偉力

設に含つては周野な計畫設計、 をかま技術とに相俟って工場受 を国手選氏、工芸は代理千平壹 が即氏、馬等係長川本忠・工等 の砂管的努力により退棄的処時 の砂管的努力により退棄的処時 二十萬平を注定、その工場の建

本蔵道の重要部分は質に本部院内 其の功を奏し些かの取録をも見ら 風頭里惠山鏡間四十キロは全番 補援手の大頭競馬山線は本日も

才 形 春 正 宣言 三番

松澤鑛業所 邑

福利增進

今やすでに

和田商店

電話四三番

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

朝鮮電氣株式會社 派 Щ

所

成一商事株式會社

**果** 題

臓

深

山邑事務所

圳

Á

石

Ħ

製花

月

惠出鎮蘇阿

越後屋商店

↑近〜製品デビユ

半島工業界の花形日本高周波重工業

惠山本町

金在

電 澤

話林工之番助

# 六年七ケ月と千五百萬圓の巨費で完成

# 找鐵道建設史上眞に空前の大盛觀

地形に對しては本那鐵道に於て嚆矢とされる飛行機による空中寫眞測量を 實施し 整部成党を遂げる経第一の高州帝を走破する原設の体操は最多命ミ権性と人物と技術を動員して最高の努力を掲げ大自然

悪山観察道の瑞鑑観である北鮮布電磁道自茂線(自岩及山間一入八軒の機軌線)は北鮮開

刺として活躍の一歩を力操く留みしめたのである 運輸の根幹をなすものでこれが戦略を摂し共門月としての京栗役割を食い破散部は一般関原語としての使命に競 新紫を戴し 単に 溝洲國長 白吉林新京を結ぶ 占長線鐵道の 實現を促進し 將來 鮮潮交通 殖職道日本。緑の幹線として文北鮮中部に於けるを福安部の個質に需要組織の構造養量に、文文化の伸展に、 永久に輝くであらう、本線は國防上重要性を有するは勿論白岩より茂山に到り拓 を塌撃し本線第一の經濟地點に達せしむる等戦道建設史上赫々たる幾多の功績は スキツチバツク驛や設け久曲線隧道及本線最長の延長二、二一三米の南雲榆隧道室RRU - 選出版とSURio Lana 下山統下間の最難工事属間で「勢上合水及南溪には

茂線も着々進捗

161111

「抗を飲命と」理和七十五月自治より起工昭和九年自治、山堂本間三三野飯昭和十年由半、東京の一部として総計戦の連続と相関って総裁・原に真る大森松並に探索の別拓及び建設の廣大なる末間の開 **高間であつたが更に三百萬風を追加されることになった** 療業を附給目下給坪河新期(川) 一五杯は二工版に分も路線工事施行中で引機さ新院茂山間 ●武岩間一十三杯像、昭和十一年就岩間平前四十四杯給(自岩間が原間一〇〇杯五)の ែを使命とし昭和七十五月白岩より起工昭和九年白岩、

> 様太思須取、北支上前、青島前 台灣 航路 高端基隆

して工を起して以来數簿、合水、本線は昭和六年五月吉州を起點と 虚である

期を充質し、耐風姿取地域の交通地と粒び、耐風姿取地域の交通

特望久しかしり し悪山親も遂に十

一月一日をもつて目出たく全通と

の自然克服のなそのものであり今

後の選擇亦雌道人と天然との相剋 の登設こそは現代の文化製造部業 弱風、猛撃と晒はわばならず、こ 強威は特徴の缺乏に加ふるに始起

鮮內航路 泗浦處大淮清津

進湖 学の後月と千五百餘萬間の工費と 中朝鮮の歴世の一角南雪戦の峻絶と変して完成したのであるが、途

北鮮開發の恩

輝く城津の三人男

は八面六臂の常羅は眼幕しいもの 郷し、締ら智見商を織者する等氏 今や本線の全面によって中島市

まで總班長百四十一粁七分、六年山旗を日本福祥に纏いで全通する 自当、鳳頭里と延び今回環境の恵

## に世界的の難

零下四十度、萬年氷とざす高地帶に

### 本邦最初の航空寫眞測量

度收をにし製門年書州會水間書州惠山鎮順地に於て用地の 年計劃線の一たり、昭和三年の観覧を組たる朝鮮総道十二 杆の細路にして第二十二歳日 山鱗に達する延長約四四十二 勝言川を別語と! 三元なり、神名本郷に成職

埋もれた富源の開發に

中にも賴母しき豊富なる地下資源

早くも奏づ開發大行進

商用一城一帶の電力安原は八十萬千口を

近常上級も近距離にある欧川江流

ざ各種の悪素と條件に患まれ

られつくある等々朝鮮に設ける 津工場の生産設備借着計畫を追 日本マグネサリトに断工器質

有し既に二十二萬五千キロの養電

計画を確立具體化せること大

平野は候職に墜慢し約五百萬坪の地積として消費運されてゐる歴域

面積を振し地理的交通的水敷水料

歩を踏み出

後半世界一の優秀網を製成する際 特別づけられてゐるが既に日本の

しての飛機製機を約束せ

漢重工業等計械用・裏の油田

本情の 重極意思用如に即ひ被改品

の王隆を占め斯藩の議院委員という。

全觀至十五五版に分下領和出

合水間の原見及る。一般などで昭和人が昭立て昭和人が昭立ない。 年 1877年 日本 1878年 日本 布記を了し十一月俊母衆を開 工、筋年省州・軽濃間の軌道 礼は用地官三十九萬六千十十名百種工事の概要を継れるものなり、今本縣に

重是約百四十新延長約二千三百五十平方米**、**厄線 地數二十萬斯、路極約三萬 一般工事に付物地すべきは南

芸仙を中心とする一帯の高山

野等により最高級指標高質にの延長二軒條に宜る際世の振 の年形態形の御支援の脳とし 今日無事会工事の被工を告げ ては地部航空隊により本邦最水に作まされ之が質調に書り て共に深地だる散版と映画を 現能なる技術の然らしむると 干五百二十二米、最急与肥子 キッチパック及び世界南性 たるに順に関係職員並に当 歴行するに祀れるものなり、 へ響を幸し合水及び南流のス 170不協不屈の努力と観過

感激の初荷

夏目十郎兵衛氏

元川から初めて破職に乗込んだのつてゐる氏が軍艦艦那の客となり て夏目十郎兵衛氏の存在は既然光の明拓者として支財駅の長老とし

関係地方官民が脅しく特望せる無。北解明藤の功彦者として北峰航路「朱春して北峰沿岸航路の開拓に造 その後は日本戦船會融の代理店を 製作水先案内として來たのである。一日であつたといふ、氏は常時道 は日清殿役様の明治三十二年六月

昭和八年十一月惠山線吉州。合水間開通に際し 媒体地に搬出された木材の初荷 酸並に海道県に発した琉璃は渡すがあった番鹿返苦に十餘年地方県 通適合航支店長に銀げられたが昭和五年電気を他に纏つて関係

北川三策氏

ਕ

旭

降

舞手を交叉をつに到り召集に駆し 選案を言み明治二十六年城市に存 整商業の出身で一時是紙に於て液 からず貧功行賞に限して後七位歌で從軍済州各地に轉載して領功裕 て議権を構造せんとする失先日 と惨痛其の質を得てるる氏は長

根

彦

治

郞

来て臨所に歌樂は捲る あつたか原次交通機の完成に開発 古の戦りを傾けつ、あるの原態に つまらるが従来道軽変通の便にご 窓なることに於て有名で明鮮の 祖子器は軍衛衛の衛門を明 便とする地方一帯は地下資産の豊 八翻席として指導の地目の的となっ

は、「百八十萬間、大正七年に住し

成に拍車をかけられ着々其緒に地下登録の開發は支通施設の完

に五多望なる前途に即いてゐると神鶴力を有する被歌衙に開か上 等の各種條件を具備し充分強度性

豐端鐵道も

重大な役割

最近 品川電波道面と思う

(鉄線場川端より分岐する暗視器

特職のものを除さ其多くは千

資産開發の難しき間温温度域部中 不祥を中して発興しているとゆく

> 接信により目出たく戦工を修け本一するかは今直発管を要せる名所で「あが同時にその銀数間として很大山線観道は巨頂の周環も衝勢だる「関防上、政治上部艦上重要性を有「政策だることを修覧するものであ に至ったことは誠に依似情々能は、維治規序プロックの輩化優難等の「情がな羨疑に套すべく情報の施設日金もつて金道式を襲行せらるく」あつて、各籍表演の問題は勿論、「使命をもつ域形態に変活態態の政 さる所である過去四十年の推隆時 | 珊瑚に向つて一大脚雄を暗愕され 地部今日の安は本線の假能を唯一然し本線の全通は開係地方官民に ばならね、との機會に所獲の一端とその利用の方途に完整を期せれ

げられた各位に對し際地の敬意をを述べ本物建設に軍身の勢力を探

間に物語るものである、本観は北

所知事業の大動脈として如何に「これが助暴に動し真金を振するの「次第である 所知事業の大動脈として如何に「これが助暴に動し真金を振するの「次第である」

大なる諸所を楽せられたもので、

偉大なる人力逐に

**大自然を征服** 

今後の運營にも幾多の困難

急カープ、トンネル、スキッチバ

111 1

幾次郎

惠

警

察

署

を予五百餘米で越へてをり急勾配 ッグ等感道観路としてあらける窓 難罪行を傾ける概である、能つて

城準鐵道事務所長 內

藤 眞 代より脱却して見事二段能をした一るのである

杭原建土電鐵道 丸 用用 大木材材柱木

會並 須川洋行製材所 株式

私 書 凾 第二 號標門 話 二 五 五 番電 話 二 五 五 番

城 津 邑 旭 町

明 夏 製 nti

材所 四一番

E I

惠山鎮電氣會社 立
曹
通
學
校 Ħ 盤言 郡 祭

廳

署

Ϋ. 勘 食 嶽 HII. Annable Management 郡

廳

恺 帝國聖麻林式會並 **山** ILI 場塲

北北縣場里山市 支

冱

鰦

戡

朝鮮酸南甲山郡惠山邑 塲

榮 太 阆

ř.

水

久

雄

瀨 敬 臓

男

共 惠與 木 山貨幣以會 業組合 日前 張 所

\*

jĘ.

惠材 山產 服 <sup>展</sup> 鎭 支部 

0 A 5 蓬風 ijί

朴

咸鏡南道知事 笹川恭三

郞

野咖啡

Ш

醫祭署

重次

K

ĕ

生长期前

矅

曾

当案の承許と内閣に迫り種々雅 公村、世間兩局長も東上して鶴春 府案及朝鮮事業公配法の改正

\_=

Ξ.

79--番番

立場がいませて別かれることの一年半近に購入されたのである五千株の株式を引受け例年七月)められば有郷道として朝鮮難道す

が地方民の苦心は續く

血涙に綴る回顧録

津 邑 一并物產株式會社京城支店 城津駐在員 本 町 九 靂 畑 話 長長 清

策

劇

壽與黑鉛鑛山 城津黑鉛鑛山

## **咸鏡北道知事 兒 島 高 信**

小選期的な大事業であつて、本地方は 南田原山殿間に通ずで吉思線路道

せひとも質現

我ら港民の責任は重大

城津邑長

柏

とは洞に慶毀に堪えない次弟であ が本日より開題を見るに至ったこ

**西、鐵龍等の装潢開頭に多くの食館を築し、延ては関係を並の壊壊の間に次第に果も得らる。に至るのみならず、之に伴び関係地方の秘密。監には金関頭せらる。と表に基税保護の安極を撤利の永久保護に目的の途は益く関連せらる。と表に基税保護の安極を撤利の永久保護に目的** 本磁道による産業として道内において既に北麓製造 競及びその辿展に重要なる使命を有するに至ったのである

かくの如く特殊使命を有する本態道をしてその機能を光分に預罪せしむ 道田を見、尚斯来に多大の期待を掛けられてあるのであつて今後更に異 ることに努むるは関係地方官民に負荷せられたる重大資務であると信す

明力を有するのみで「常に硏究心の強い同氏の心著に対したいというない」というである。 開業婦の進度を許され所であり、はつているが、之 その設備の光度した脈は全く他の上言・千年ガ末を薬

研究心燃ゆる若き歯科器

将の技能者な主は異地獄近縁の「どを派るものである合理的」に「經濟的に紹正聯」與するところ大なる 懇切を第一義に

協の故意を排ふと共に本総使命の 終りに本線輸道の計画設計・測位

完全な競争により関力の増進に寄

のは最も完励した影響機関である 関の中間を正す並立際院は大正十

昭和十年現在の境所に開業したが

秀才でその後二ヶ年間は核で研究。萬条を期すべく計畫を進めて

本町古科器会敬源氏は北波を翻ぎ 歌門學校に學び昭和八年卒業した

範状高音卒業役爰を負び顧岡備料

### 衆望擔ふ金敬運氏 する態度は製造を第一義としい音 一菱生世間と全鮮にも比別ないウ

員は陰是々親切叮鳴々を金料玉は 論の控各部から来院する川者の日 に診療に從事してある。地元は勿 機能の機能を告げ大擂器の機器

電話四三番

規順入、水村院長統領の下に全 ラテルム (超短波治療院)

城

恒

**門唇は次の通りである『宮崎信頼** 

保

### の信頼は日毎に認められてゐるが さらに近く歴史を接張して聆訳に

駿 茂利洋行

聖話二八番

咸北城津本町

H

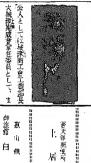
尾

营

城

門門 

名聲は世界を壓し



東語 補 工 運 輸 本 店 選 輸 工 運 輸 本 店 選 輸 工 運 輸 本 店

黑松醫院

作

H

l

務

所

埘

**吉酒造組合** 

本店 京

公公

わかもと時局映画

頁

みならず劉禄長自、殿江、撫松縣 北鮮史に輝く一 道會議員(城津都) 柳鏡夏

に容異する起あるべきは勿論、軍

る」に際し所像の一端を述べ職権「説に購入せしめたのであり、更に本呂惠山部が国を選式を暴行せて」 高局をして朝鮮観覚十二ヶ年度計

平北敷船の中心都市となり旅

学生にする場合の概況であった

聖代の難有さ、感涙に咽ぶ

惡山邑長

酮

有十日といいのに合本時間 近の間には武宝自己を載

四頃を帰げして迷に年重二家

關係地方住民 として

谷の王領で、その時計画量に

こ、は無上の光鋭とする所にり、 て南東自山間の運動を建えて盛に汚し且つ頭難を終するの概念を得、に漆儀せる樹驤重要都市の一にし 明る線道は各種交通運輸機関中元 日本語の各派並に成領本線と駆ぎ

が國是たる日間支を一関とする下の経過一知政策の共現にも我

字順送、物資の集散の大動脈の心

北文川南州國長白縣

間にも相当焼しこれが完否に直ち | 未た汽車の原形に浴するを得ず駅

も重要であるのにして関家に於け

即も野内各地に到する交通運搬に のあっを悪機し得らるとなり、 依りみ方面に連結製布員を見る時 方面にまた場合語を題の配言等に は計地の将来は動能に他すべきも

すべく履って基々情地の義展性の 内各地に、近江内地各市場に聯絡 「思いである。なほ漫像マグネジャーこれが自動機として使命の一帯重

間であるから方面から生文教野し

細能進敗役の体業成り、十一月一

威麗中部地方開鑫のポイント恵山

日をもつて連続質素の開始を見た一るのである

て城市上場に輸送し一部は原動の | 安京原送線に増出、東山線によっ ら四軒の歌用標便線を取扱して重 の経典計畫によって山元経練場か れてゐる。南飛巍山は年産十萬廟 標せられ国際的存在として報賞さ

まく日畿、理研その他に向け数田

な別の私公

日本マグネサイト化學工業

戦時體制下に新時代

躍活に横縦 氏介恭崎野 山金同大

二萬氏長師長 山本著一氏麻酱常被麻締役 城地工場是、小笠

アクリソカー、マグネシア域瓦の 工同十一年三月被上網來マグネシ

に革動式化果工夫見破化の研究を整坪を買收、更にマグ工業を中心

の生産計画も併行すべく職地、萬一ある

生産をなし内地
注勿論派外に向け

「「城山事材所の順路は次の緒氏で」 兵・河南の 明路は次の緒氏で 「兵・河南」 氏洋線長崎

は孤山線南深、自当附近に鶴床を

吞吐港の大使 大城津建設期成會

常任委員 黑田直二郎

野田し臨質優秀、純量心敷信明

大なるを確認するものである。 一一一は洪世の現状を見るに組織部 るが、比れ完成までにはない相 中間織甲炭として潜々遊抄中で

Eir III.

督

事

永剛

撞

豆滿江林業等會社

により金開きれた南江拓発隆置

| 支引いてあるではないか、しかし | 途を受べればならぬのである。智路観として開関量関に機然と無線 | を改めて字観し、而して進了るの

ち官民一教総保和返流観川優の

桃を結ぶ感道計畫は海部園の計畫

なられ谷の知る曲もないはずであ、場ずる日の近さにあるを思ふとき

縮元總の兩經融金部中鏡蔵

一個が関係なきを引やうり人はこの

一大轉換期に當りこの轉換の事質

歴史を強御したものがあらう、神一 個・3に本政計書質時間の同門園の|

無機と落せられこれを強の時 前国の木片鉄車物、型産物は場と

なは茲に整形すべきは浦洲園の出

者である、いふまでもなく中部

得るものでない

りずるもその必要にして急物なる

逝 學 原 使 易 城

上 義

彦

機械製產、品質極上、價格低廉

城津已蓮湖洞

天徳レンガ工場

電話三〇三番

御料理

津

H

ıII

御料理

電話一〇六番

花

**全在米商店** 

電話五十三番

年産一干萬枚ノ生産能力ヲ有ス天態興業株式會祉附帯事業ニシテ

盛の夕は本社総籍支局後援の下に の食主催、時局ニュースと保健院 【羅津】わかもと本館祭奠と育見

城

電話三五新

鐵網遊寶商 城津支店 鐵網遊寶商 城津支店

+

擴充に次ぐ大擴充 輝く道立城津醫院

完璧をはこる

資會社

話長二七五番 \*\*\*\*\*\*\*

會館 電話一五番 城

道會議員切り

鍾 林 夏 K

**咸北無盡株式會社** 津出張所 城店 謯



萬歳とレビユウ

**半**坦剂城京 >>>

舞踊とジャス

二十歳与一 年中林なし 二十歳年外

